

国際オートメカニク科			2028年度 授業計画			
時 期	3年前期	単元	一般	教科名	一般教養 3 A 2	
科 目	一般	教科書等 持参品		発行日	2026年4月1日	
総時限	38			教科 担当	坂口 正憲	
総時間	60.8				石井 隆幸	
単 位	4				外部講師	
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当 日本語教育について十分な知見のある外部講師と連携して、自動車整備士としての実務経験のある教員が実施する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入） すでにN2相当の日本語力を持つ学生が、日本の社会人（自動車整備士など）として現場に出るための「最後の総仕上げ」です。一般常識や実務知識を中心に据えた科目になります。						
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか） ディーラーや整備工場でのリアルな会話：先輩整備士からの素早い指示（指示代名詞や業界の略語など）を正確に聞き取り、動く力を養います。 整備現場での問診・接客シミュレーション：来店されたお客様から車の不調（「変な音がする」「ブレーキの効きが悪い」など）を正確に聞き取るコミュニケーションを学びます。 作業指示書と引き継ぎの表現：チームで動く現場において、自分がどこまで作業したか、次の人にどう引き継ぐかを正確に伝える表現を習得します。						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目） 平常点（30%）：毎回の宿題（パワードリル・言葉を覚えようなど）の提出状況と達成度。 授業への参画度（20%）：ペアワークやクイズ、授業内の発言への積極性。 小テスト・模試（50%）：随時実施する漢字・語彙クイズ、適宜実施する模擬試験の成績。						
5. 準備学習 予習（約30分）：次回扱う『ベスト』の「言葉を覚えよう」の単語に目を通し、意味を確認しておくこと。 復習（約60分）：授業で間違えた文法ポイント（ポ&プ）の例文をノートに書き写して音読する。指定された『パワードリル』の範囲を解き、次のフィードバックに備えること。						
6. 学修時間と単位 本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。 1単位の修得に必要な学修時間の目安は、15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間である。						

国際オートメカニク科

2028年度 授業計画

時 期	3年前期	単元	一般	教科名	一般教養 3 A 2		
7. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					8. 教科書、資料、備品類		
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量	
1	ガイダンス、整備工場の1日の流れとそこで使われる日本語の特性						
2	現場の言葉①：指示代名詞や現場特有の略語（アッセンブリー、Assyなど）						
3	先輩からの素早い指示の聞き取り①：工具や部品の準備指示						
4	先輩からの素早い指示の聞き取り②：安全に関わる緊急の指示（「ストップ！」「危ない！」）						
5	現場での確認・復唱：「～ですね」「～でよろしいですか」の定着						
6	整備現場でのコミュニケーション：分からない時の正しい質問の仕方						
7	作業指示書の読み方①：記載されている情報の確認（車名、車台番号、作業内容）						
8	作業指示書の読み方②：不具合症状（問診内容）の読み取り						
9	接客の日本語基本：来店されたお客様への挨拶、出迎え、誘導マナー						
10	お客様への問診①：不具合の起きる「時期」と「頻度」の聞き取り（「いつから？」「時々？」）						
11	お客様への問診②：不具合の起きる「状況」の聞き取り（「加速時？」「ブレーキ時？」）						
12	不具合の表現①：音に関するオノマトペの聞き取り（「異音がする」の具体化）						
13	音の聞き分けワーク：「キーキー（ブレーキ）」「ガラガラ（エンジン）」等の原因予測						
14	不具合の表現②：振動や感覚に関する表現（「ハンドルがぶれる」「ペダルが重い」）						
15	フロント受付ロールプレイ①：お客様役と整備士役に分かれた模擬問診						
16	先輩への作業報告①：点検結果の報告（異常なし・異常ありの伝え方）						
17	先輩への作業報告②：予定時間を過ぎそうな場合の理由と見込み時間の報告						
18	点検記録簿の書き方①：定期点検での記号の意味（√、×、○、△）と記入マナー						
19	点検記録簿の書き方②：交換部品や調整内容のテキスト記入ルール						
20	【中間チェック】現場の指示聞き取り・問診ロールプレイテスト						
21	不具合の表現③：電気系統のトラブル（「ライトがつかない」「オーディオが動かない」）						
22	不具合の表現④：エアコン・異臭のトラブル（「カビ臭い」「冷えが悪い」）						
23	お客様への診断結果の説明①：原因の伝え方（専門用語を使わない工夫）						
24	お客様への診断結果の説明②：交換や修理の必要性を納得してもらう表現						
25	見積書の説明方法：部品代、技術料（工賃）の見方と金額の伝え方						
26	納車時の説明：行った作業内容の報告、今後の注意点のアドバイス						
27	チーム整備の日本語①：複数人で1台の車を整備する際の声かけ（「オーライ」「ストップ」）						
28	チーム整備の日本語②：リフト上下時の安全確認の声かけ（「リフト上げます！」）						
29	作業の引き継ぎ表現：休憩前や交代時に「どこまでやったか」を正確に伝える						
30	部品発注の日本語：部品課や社外の業者へ正確に部品を注文する表現						
31	整備ミスが発生した時の報告：隠さず、迅速に、正確に事実を上司へ伝える表現						
32	自動車検査（車検）に関する現場用語：保安基準、適合、不適合の表現						
33	フロント業務（受付）の日本語①：代車の貸し出し手続きと説明						
34	フロント業務（受付）の日本語②：引き取り・納車スケジュールの調整						
35	自動車メーカーごとの用語の違いや、業界独自の慣用表現の紹介						
36	【総合実戦】フロント受付から問診、先輩への報告までの通しロールプレイ①						
37	【総合実戦】フロント受付から問診、先輩への報告までの通しロールプレイ②						
38	実務自動車日本語の総括、現場で愛される整備士になるためのアドバイス						

※ 期末試験は授業時間に含まない